

DISTANCE

映像・制作

ワークショップ講座

2020 **11.18 Wed** 17:00-20:30

札幌市民交流プラザ 3F

クリエイティブスタジオ 札幌市中央区北1条西1丁目

DISTANCE
第一弾・第二弾
映像配信チームチーフ
講師
ワタナベカズキ

DISTANCE
第一弾・第二弾
制作チーフ
高橋戦車

- 16:30 ● 受付
- 17:00 ● WS前編 (15分休憩)
- 17:45 ● WS中編 (15分休憩)
- 19:00 ● WS後編
- 20:30 ● 終了

同時
無料配信あり

定員: 30名
参加料: 無料

※お子様連れの参加は
ご遠慮ください。

配信公演の作り方を、札幌に届けます。

このコロナ禍において、エンタテインメント業界と配信は切り離せない関係性になりました。安全を確保しながら、お客様に作品を届けるための確実な方法だからです。また、客席制限もその大きな理由の一つとなっていました。その最中、9/19から制限解除が為されました。これを受けて各団体の判断に基づく対応が為されています。安全対策を取った上で、これまでの客席に向けて。ただ、このコロナが与えた影響は、興行主・演者だけでなくお客様に対してもとても大きなものでした。まだ、隣に誰かがいる状態での観劇に不安があるお客様は多数おられます。お客

様と共に作り上げるのがお芝居です。この状況を鑑みるに、これまでと同じ客席を全ての劇場でとる、という日が来るのはまだ先のことであり、削られた客席数分の収入を確保するためにも、配信という販路は今後も重要なものとなり得ます。そこで、配信公演を行うためにどのような準備が必要なのか。費用面からシステム、機材面など各要素を、DISTANCEチームの映像チーフ・制作チーフが詳しく解説する場を設けることになりました。演劇を続けていくために、配信公演のノウハウを札幌の地に届ける。それが今企画の趣旨になります。

DISTANCE制作 高橋戦車

DISTANCE

とは?

安全に劇場で舞台をつくり、
お客様に届けたい。

新型コロナウイルス感染拡大により自主的に休館をしていた本多劇場が、活動再開にあたり、「安全第一」を最優先にした上で劇場を稼働する方法を模索し、たどり着いたのが「ひとり芝居の無観客配信公演 / DISTANCE」でした。

講座内容

- 01 コロナ禍において配信公演を行う意義について
- 02 配信公演を実施するにあたり必要な準備について
 - ・機材及びシステム
 - ・費用(3パターンを提示)
 - ・回線環境

- 03 配信公演における注意点について
 - ・どのプラットフォームが適切なのか
 - ・少ない予算の中で、どうすれば実現可能なのか
- 04 これから公演を実施する団体に向けてのアドバイス



無料配信!

左のQRコードからWSの配信を視聴できます。

※実際にカメラ及び配信機材を会場にセットして、講座内で実際に配信を行い視聴します。

お申し込み

メールにて下記のアドレスにお申し込み下さい。

✉ distance@haf.jp 申込締切 2020年11月16日(月)

メールには「DISTANCE 映像・制作ワークショップ」と明記し、

①氏名 ②年齢 ③所属団体 ④電話番号 を記入して下さい。

(申込後3日以内に返信メールが届かない場合は、お電話にてご連絡下さい。)

お問い合わせ
公益財団法人北海道文化財団
TEL 011-272-0501
(平日9:00~17:00)
Mail distance@haf.jp



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION
公益財団法人 北海道文化財団